

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

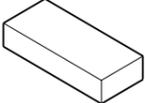
▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

■取付け上のおお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 造作材の取付け・建具のかい木には、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
 - 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
 - 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
 - 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくって納めてください。
 - 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱にあてて内装ボードを必ず縦枠に突当ててください。突当てができない場合はかい木を入れてください。
 - 上枠および片袖側縦枠と柱・間柱・まぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

ドア本体	枠	パネル
 <p>■アルミ扉の場合</p>  <p>●部品セット （アルミ扉のみ同梱。 上丁番加工部に張付けてあります。）</p>	<p><扉側部材></p> <ul style="list-style-type: none"> ●上枠 ●中縦枠 ●丁番側縦枠 ●縦枠用戸当り(2本) ●上枠用戸当り ●枠定規(施工治具用) <p><片袖側部材></p> <ul style="list-style-type: none"> ●片袖側縦枠 ●片袖側上下枠 ●縦用戸当り(下用)(2本) ●縦用パネル押え(下用)(2本) ●中棧 ●横用戸当たり(2本) ●縦用戸当り(上用)(2本) ●縦用パネル押え(上用)(2本) ●横用パネル押え(4本) ●パッキン(2本) <p>●部品セット</p> <p>●取付け説明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●上用パネル ●下用パネル <p>錠セット</p> 

■ 枠セット

部材名		員数	
扉側部材	上枠	1	
	丁番側縦枠	1	
	中縦枠	1	
	戸当り	上枠用	1
		縦枠用	2
枠定規	1		
片袖側部材	上枠	1	
	下枠	1	
	中棧	1	
	片袖側縦枠	1	
	戸当り	横用	2
		縦用(上)	2
		縦用(下)	2
	パネル押え	横用	4
		縦用(上)	2
縦用(下)		2	
パッキン	2		

■ 錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1本

■ 取付け範囲 (単位: mm)

対象壁厚	ノンケーシングタイプ		
	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	116~130	131~145	146~160

■ 部品セット

部品名称	員数
組立て用皿小ねじM4×50	8本
上枠取付け用DNビスφ3.8×50(皿木ねじ)	※7本
枠固定金具取付けねじφ4×40	3本
片袖側上下縦枠取付け用DNビスφ3.8×50(皿木ねじ)	13本
片袖側中棧取付け用皿木ねじφ3.8×56	4本
ガラス押え取付け用皿木ねじφ3.1×25	24本
ジョイント部品用連結ボルト	2本
木ダボφ8×30	4個
接着剤	1個

※予備用4本含む。

■ パネルセット

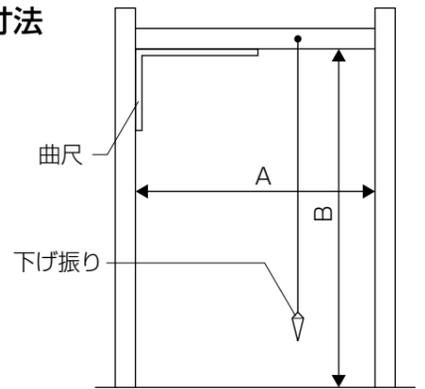
部材名	員数
上用パネル	1
下用パネル	1

■ 開口部の作り方

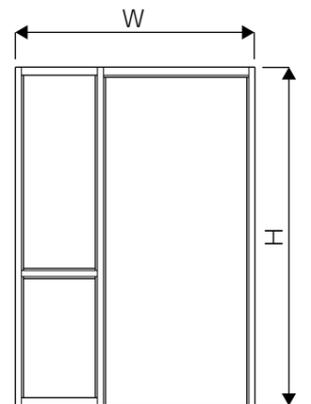
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

● 開口寸法



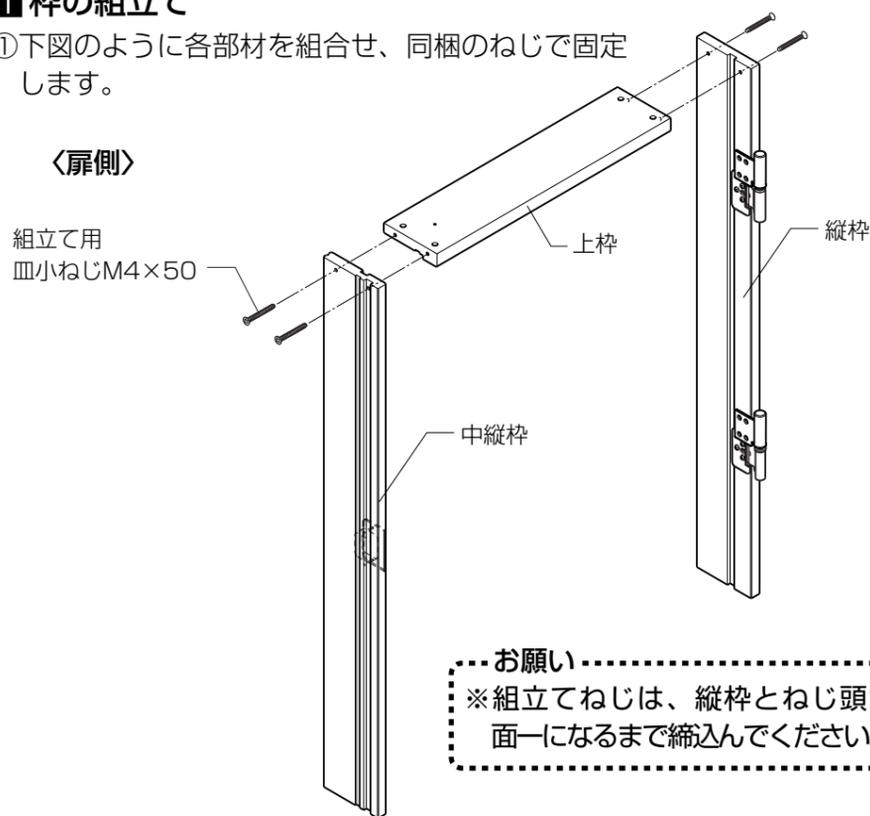
● 製品寸法



■ 取付け順序

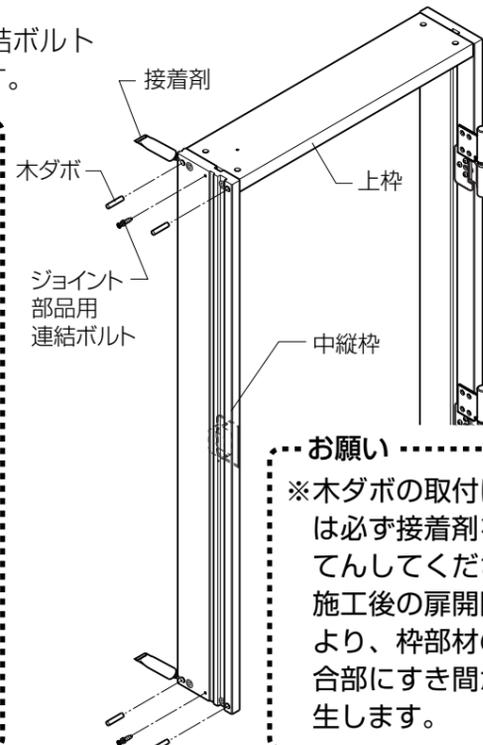
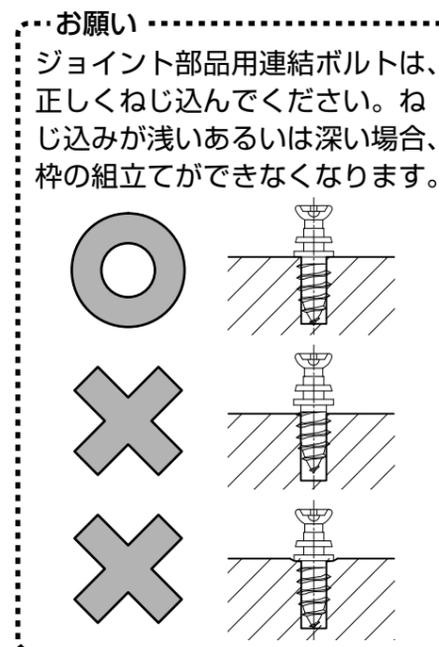
1 枠の組立て

①下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。



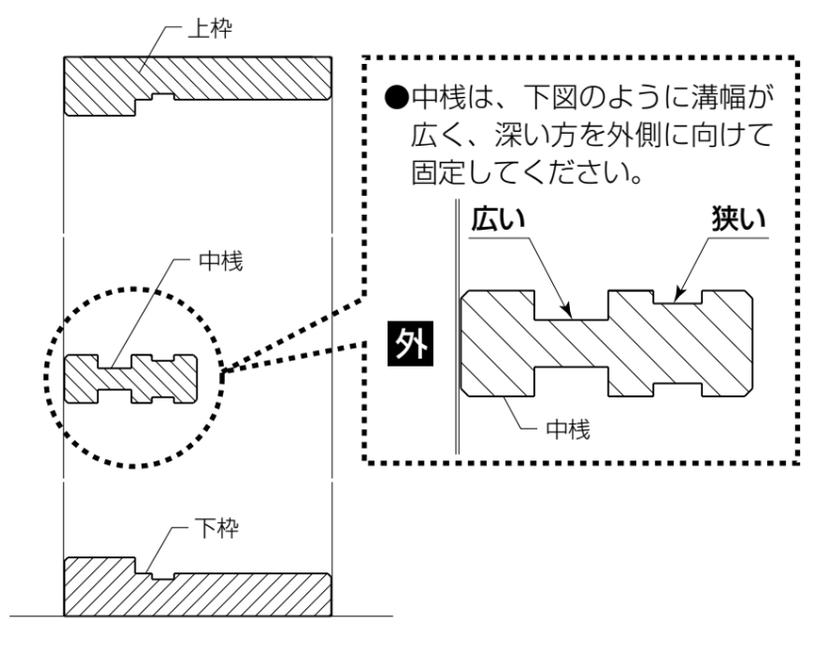
お願い
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

②右図の位置にジョイント部品用連結ボルトおよび木ダボを中縦枠に取付けます。



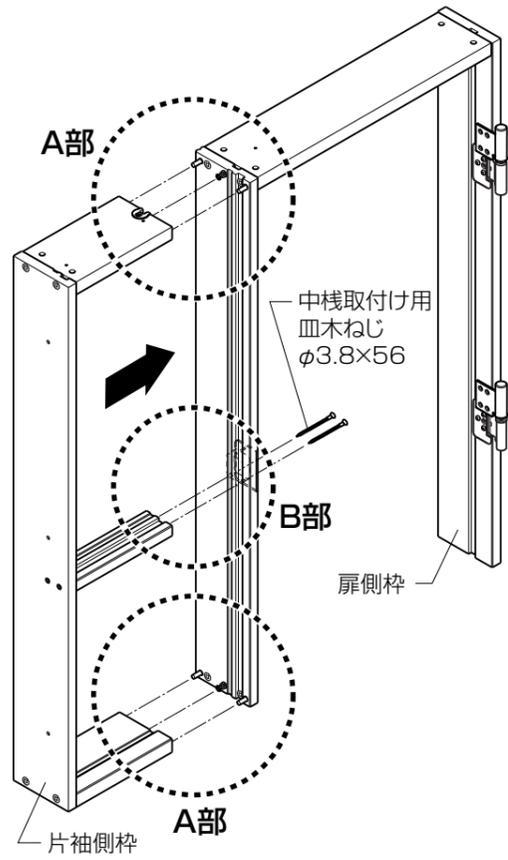
お願い
※木ダボの取付けには必ず接着剤を充てんしてください。施工後の扉開閉により、枠部材の接合部にすき間が発生します。

■ 中鴨居取付け向きについて



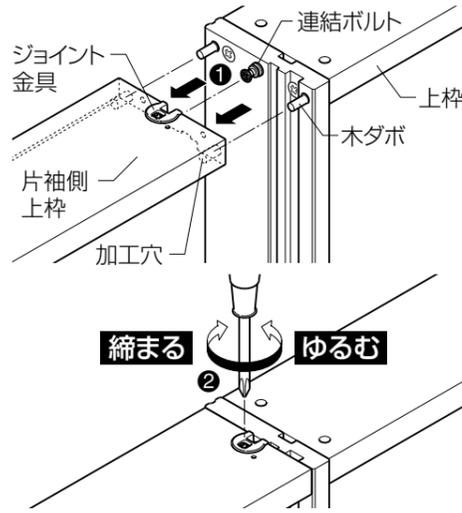
●中棧は、下図のように溝幅が広く、深い方を外側に向けて固定してください。

③扉側枠と片袖側枠を結合します。



■A部詳細図

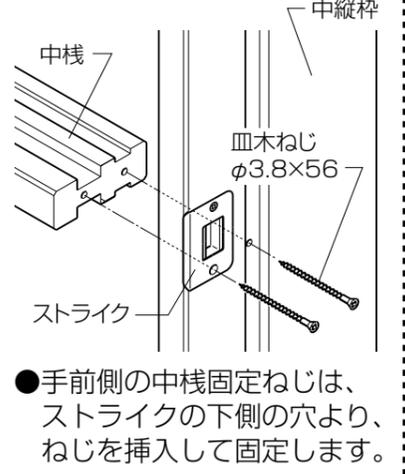
●連結ボルトをジョイント部品に、木ダボを片袖側の上枠の加工穴に挿入します。挿入後、ジョイント金具のねじを150°~180°回して締付けます。



お願い

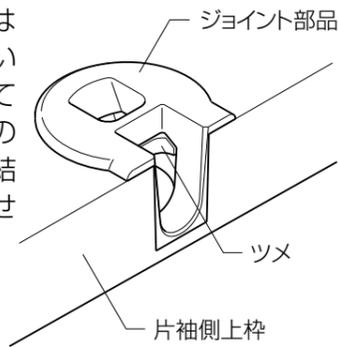
※木ダボ挿入前に上下枠加工穴には必ず接着剤を充てんしてください。施工後の扉開閉により枠部材の接合部にすき間が発生します。

■B部詳細図



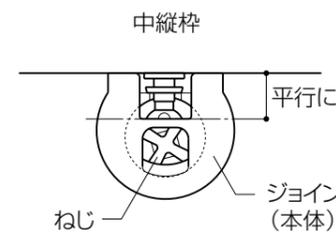
■ジョイント部品の取扱い方法

※よく締まらないときは回転部のツメを正しい状態に直して締付けてください。(回転部のツメが出ていると連結ボルトが入りません。)

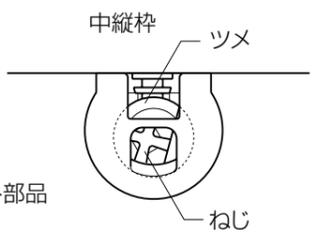


〔外すとき〕

※ねじの平らな面を中縦枠と平行にすると外れます。

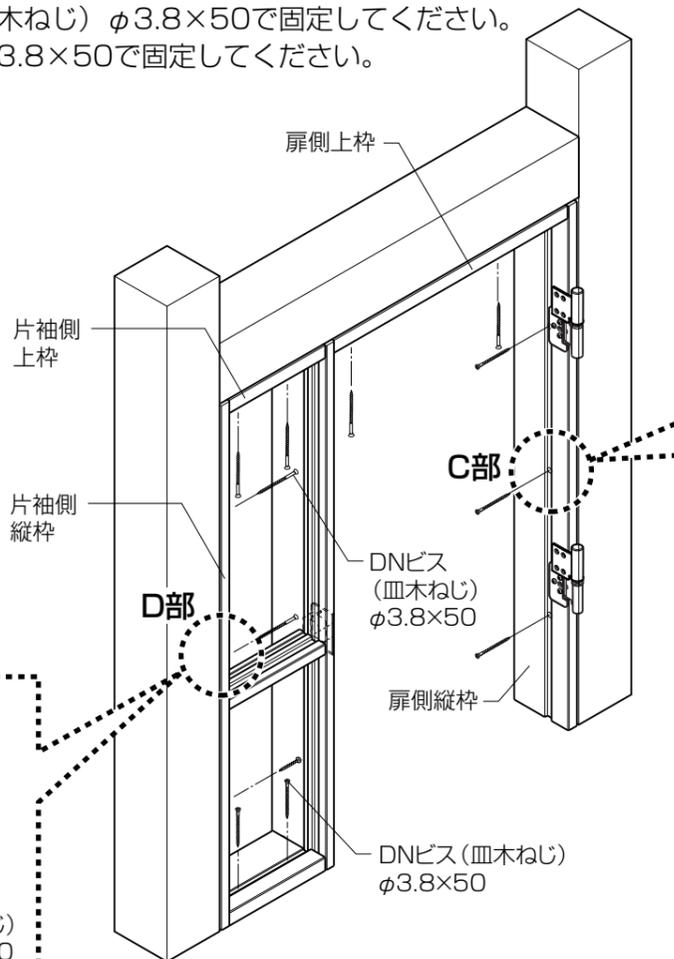
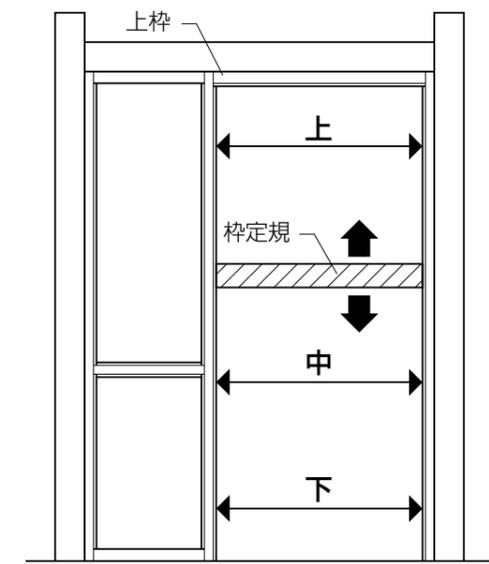


〔締めたとき〕

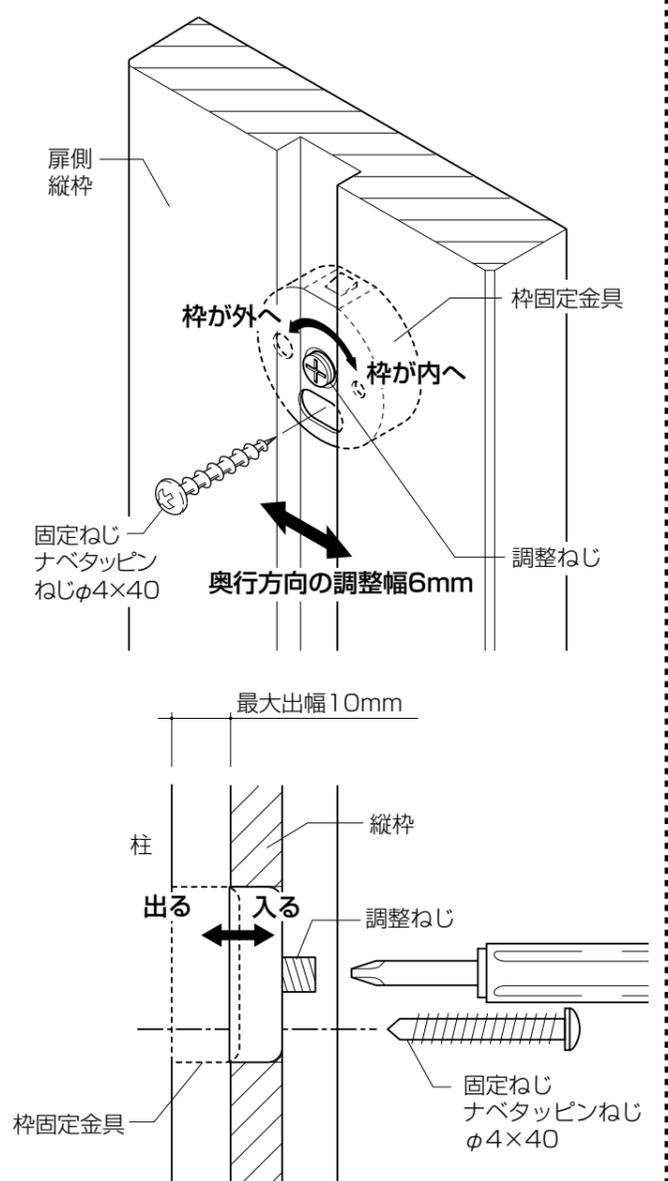


② 枠の取付け

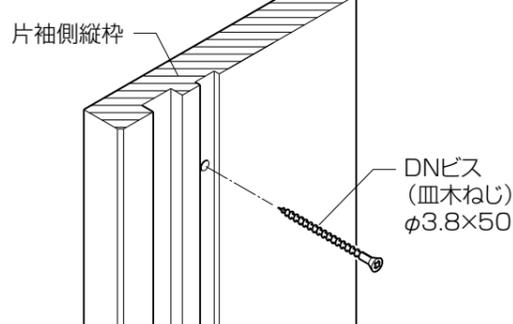
- ①扉側縦枠に取付けられている枠固定金具（扉側縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ②枠の垂直を確認してください。
- ③固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締付けてください。
- ④枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
- ⑤開口寸法（W方向）が上・中・下の個所で揃っていることを確認してください。（枠定規を当てて確認してください。）開口寸法が大きい場合は、調整ねじを時計回りに回し、小さい場合は、反時計回りに回して枠を調整してください。（左右方向の調整範囲は10mmです。）調整後、片袖側縦枠と躯体のすき間にかい木を入れ、片袖側縦枠をDNビス（皿木ねじ）φ3.8×50で固定してください。（D部詳細図）
- ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦扉側上枠をかい木を入れてDNビス（皿木ねじ）φ3.8×50で固定してください。
- ⑧片袖側上下枠をDNビス（皿木ねじ）φ3.8×50で固定してください。



■C部詳細図



■D部詳細図



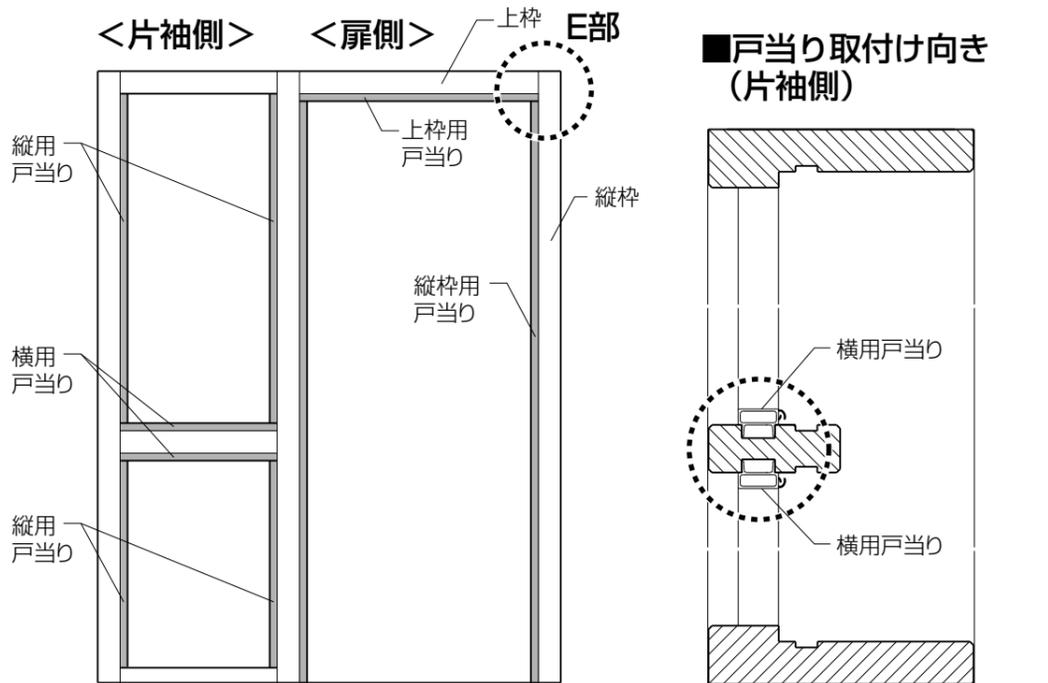
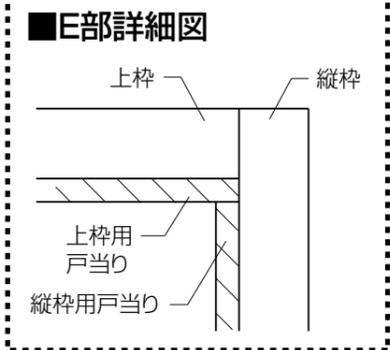
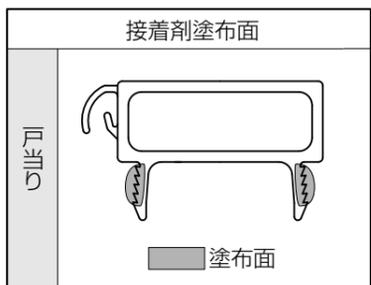
お願い

※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
※必ず内装ボードは縦枠に突当てて施工してください。突当てができない場合は、必ずかい木を入れてください。

3 戸当りの取付け

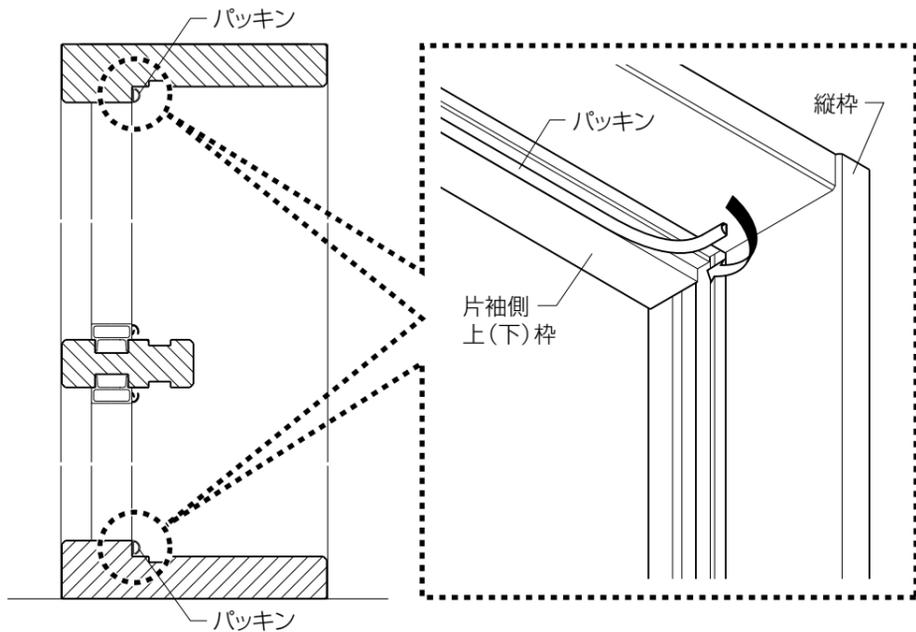
- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。（片袖側用の戸当りは、正寸カットしてありますので切断は不要です。）
- ②戸当りの足の外側（リップのある面）に接着剤（現場手配）をつけ、固定してください。（塗布面は下図参照）
接着剤（現場手配）がはみ出した場合は必ずふきとってください。
※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。
※片袖側戸当りは、先に中棧に横戸当り取付け後、縦用戸当りを取付けてください。

お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

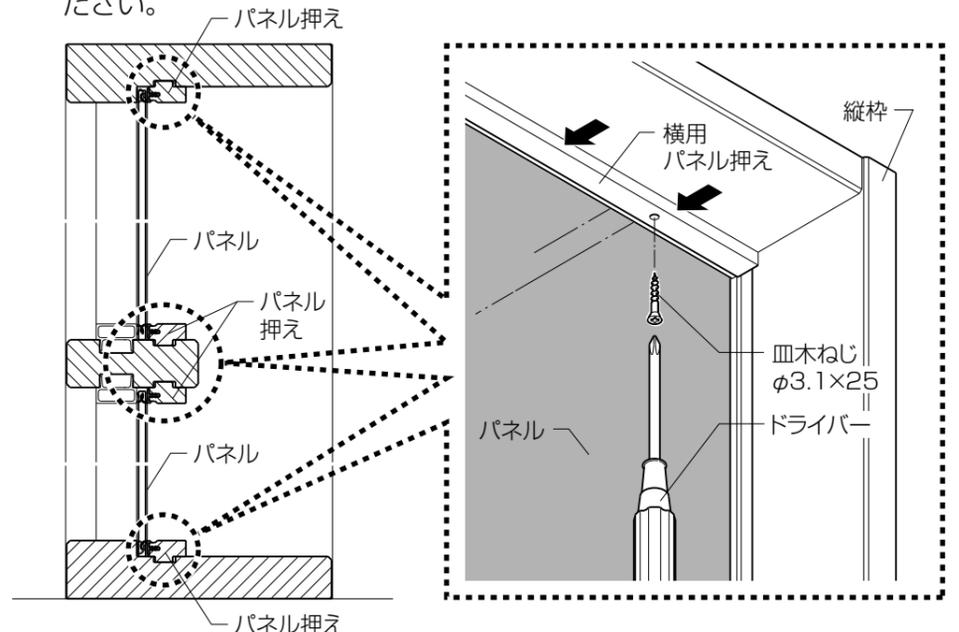


4 パネルの取付け

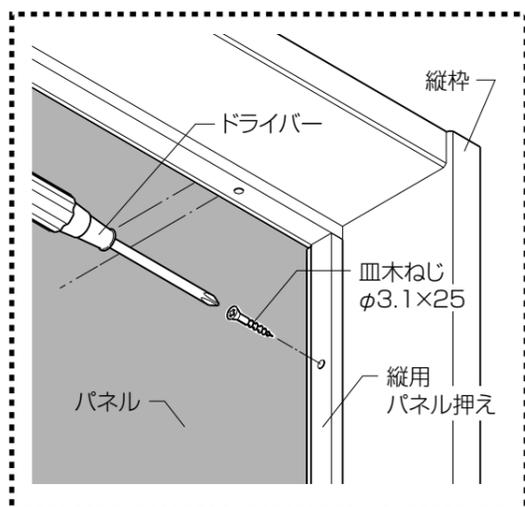
- ①片袖側上下枠に枠に同梱のパッキンを取付けます。



- ②パネルの養生シートをはがし、開口部にはめ込み、上下のパネル押えをパネルに押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。



- ③縦側のパネル押えを手でパネル側に押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。

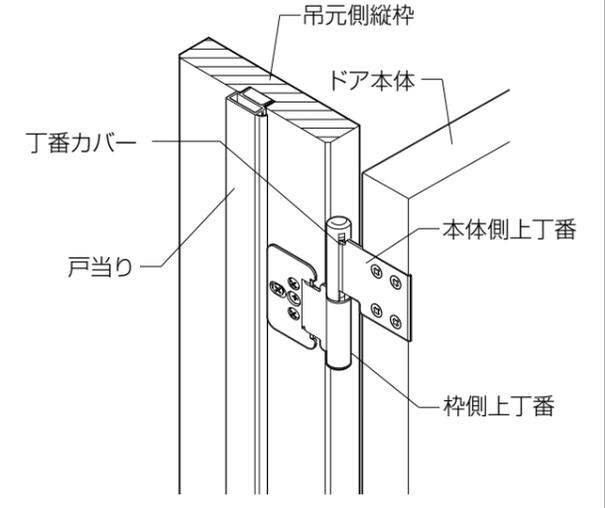


お願い
※ねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーか、手回しドライバーを使用してください。ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

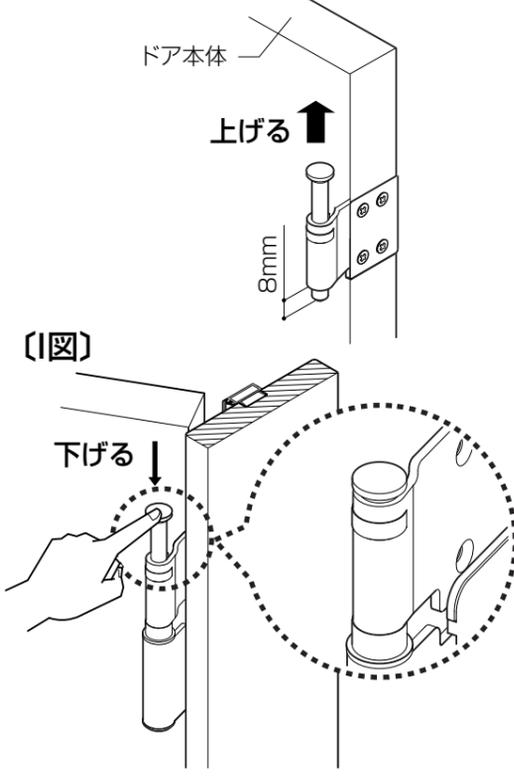
5 ドア本体の取付け

- ① ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20（枠側丁番にテープ止め）で取付けます。（F・F'部）
※アルミ扉の場合は、本体側丁番を皿小ねじM4×25（ドア本体側上丁番加工部にテープ止め）で取付けてください。
- ※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ② 下丁番カバーを上げます。
- ③ 上丁番カバーを外してください。
- ④ 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。（F部）
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ⑤ 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。（H部）
※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑥ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
- ⑦ 本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。（I図）
- ⑧ 上丁番カバーを取付けます。
※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨ 下丁番カバーを下げます。
※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

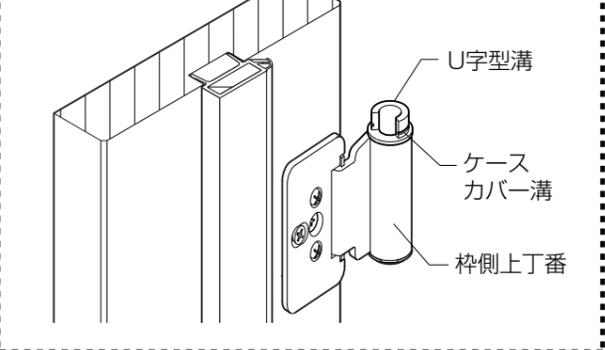
■取付け完成図



■F部詳細図



■G部詳細図



■お願い

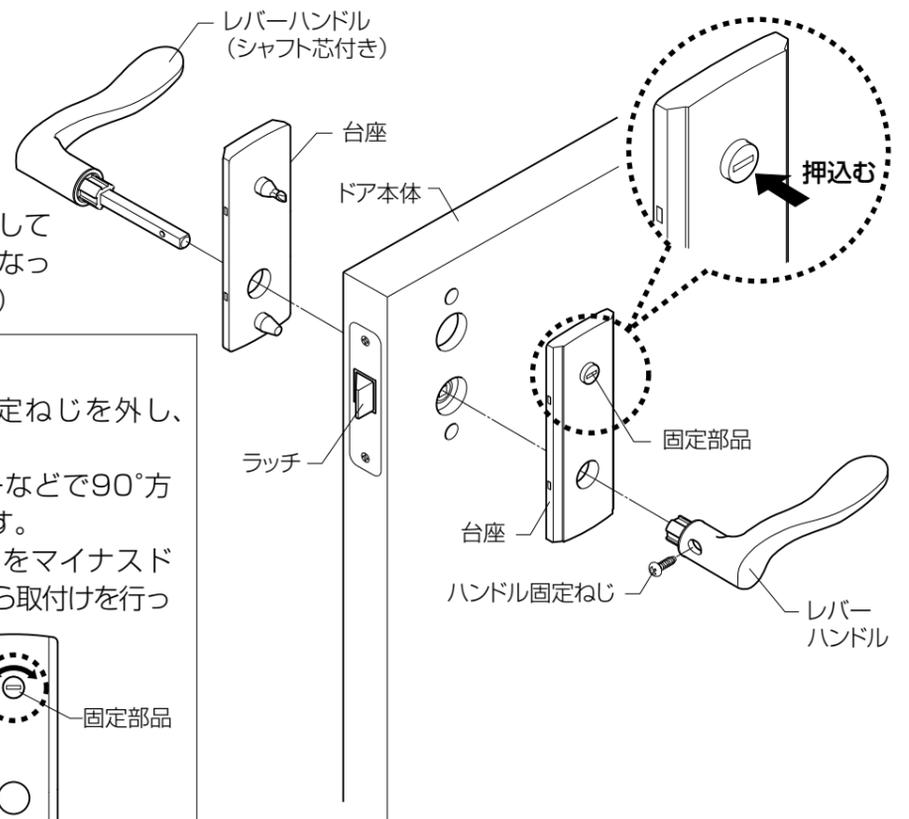
- ※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
- ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所
- 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※長期にわたる本体の立て置き保管はせず、寝かせた状態での保管としてください。
- 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

▲注意

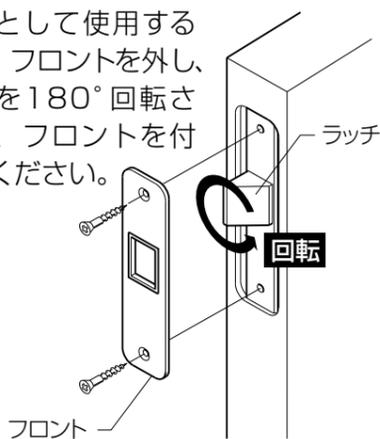
- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因となります。

6 把手の取付け

- ① 台座の上部の固定部品の溝が横になっていることを確認してください。（縦になっている場合は横向きにしてください。）
- ② 本体の加工穴に合わせて、台座を合わせてください。
- ③ 固定部品を「カチッ」と音がするまで押込んでください。
- ④ レバーハンドルを両側から差込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認してから、ハンドル固定ねじで固定してください。（ハンドルねじ固定部は、長穴になっていますので、両側より押しつけて、ハンドル固定ねじで固定してください。）

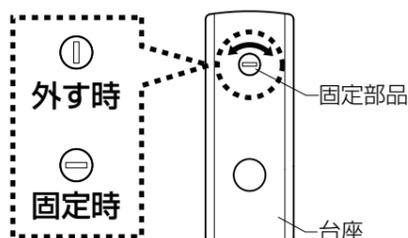


※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付直してください。



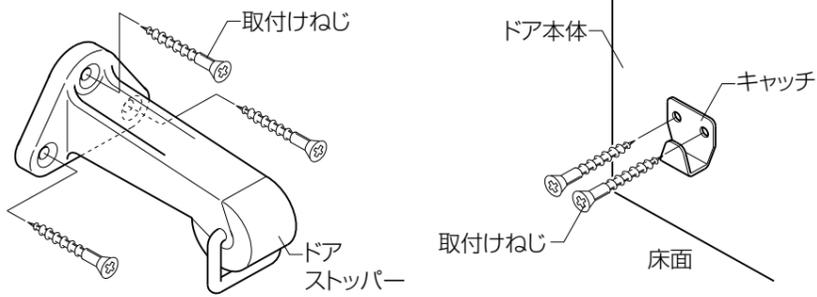
■把手の取外し方法

- ① レバーハンドルのハンドル固定ねじを外し、レバーハンドルを外します。
- ② 固定部品をマイナスドライバーなどで90°方向に回転させると台座が外せます。
- ③ 再度取付けるときは、固定部品をマイナスドライバーなどで元の状態にしてから取付けを行ってください。

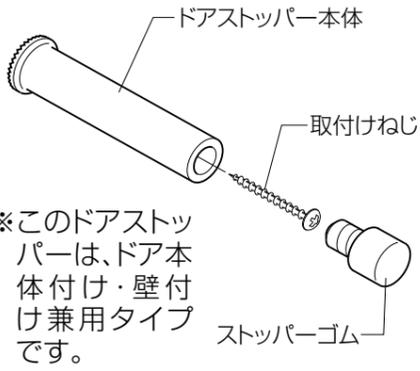


7 ドアストッパーの取付け

■床・壁取付け用(別売)



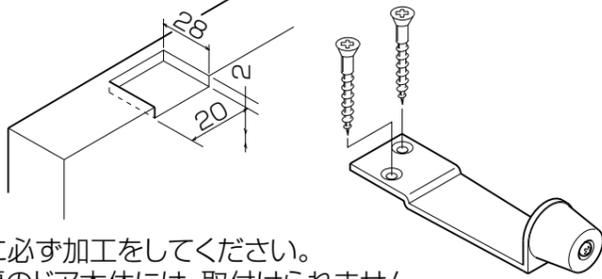
■本体取付け用(別売)



■床取付け用(別売)



■本体上部取付け用

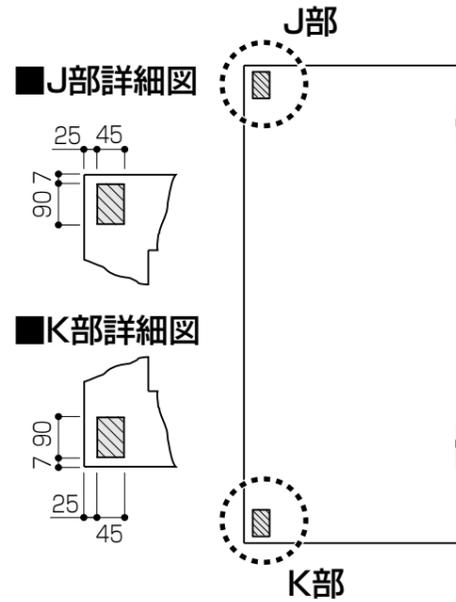


本体上部に必ず加工をしてください。
※アルミ扉のドア本体には、取付けられません。

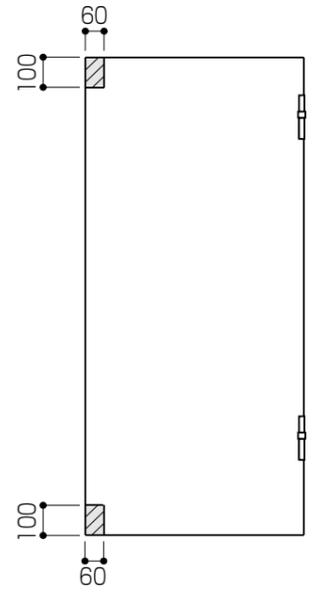
【本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲】

※下図の斜線範囲内にドアストッパー本体、又はキャッチを取付けてください。
※壁取付け、床取付けドアストッパーは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。
※ドアストッパー取付け時には、φ1.5の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると空回りすることがあります。

【アルミ扉の場合】



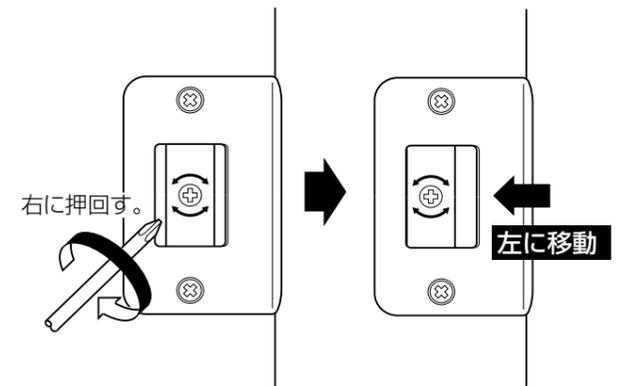
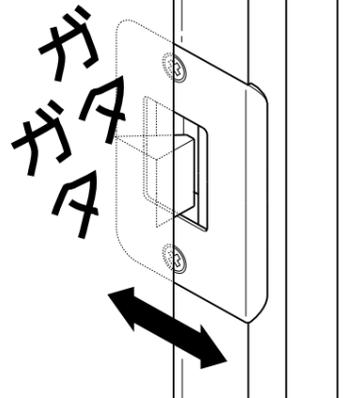
【アルミ扉以外の場合】



■建付け調整(ストライクによる調整)

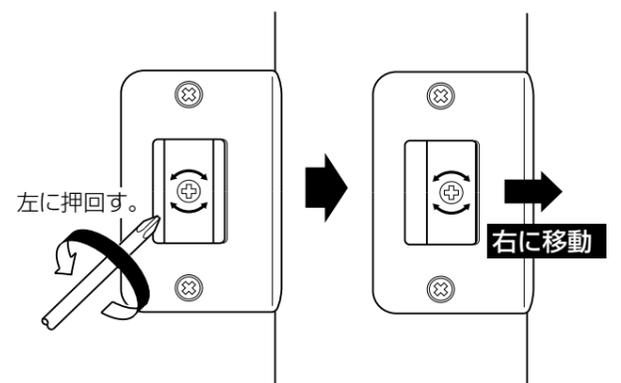
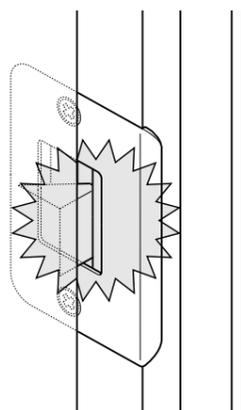
■ラッチがストライクの中でガタつく

●調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



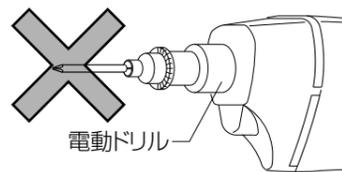
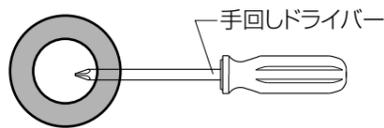
■ラッチがかからない

●調整ねじを押しながら、左に回してください。



■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例

1. ドアの上部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

不具合例

2. ドアの下部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

左右の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

不具合例

1. ドアの開き側が枠に当たる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

不具合例

2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。

不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。

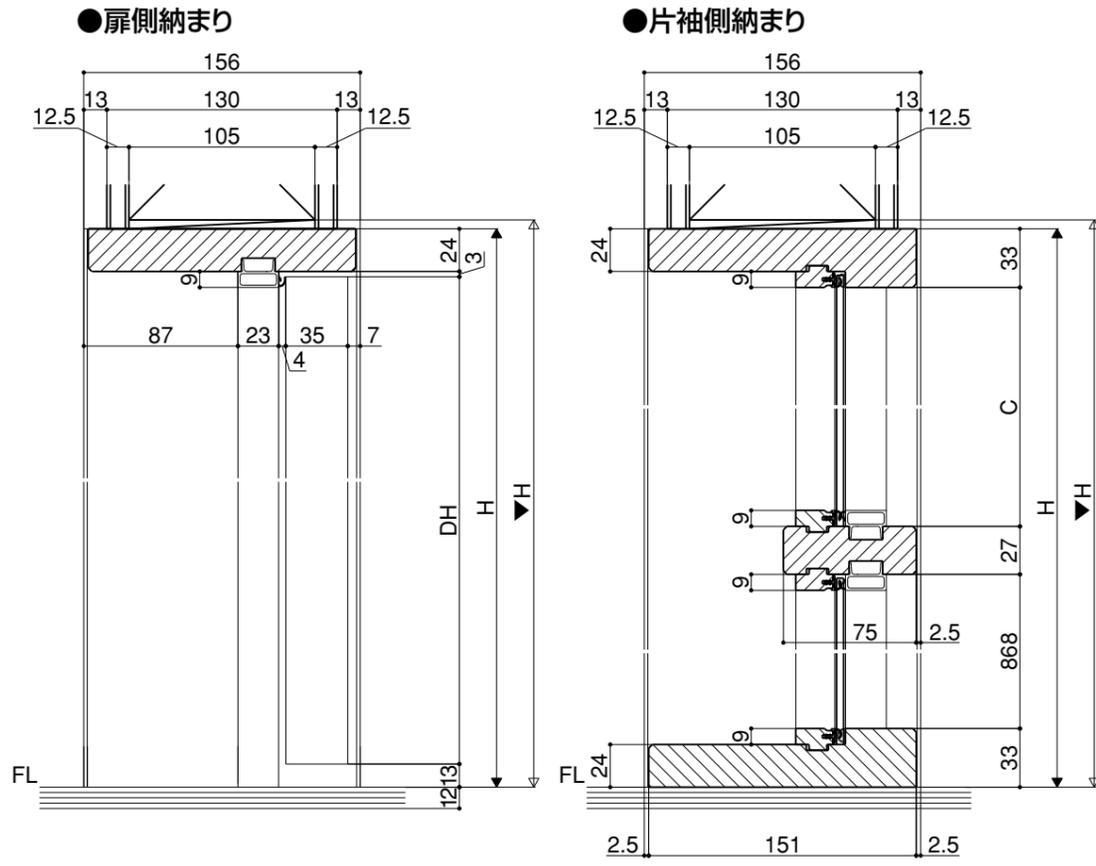
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。

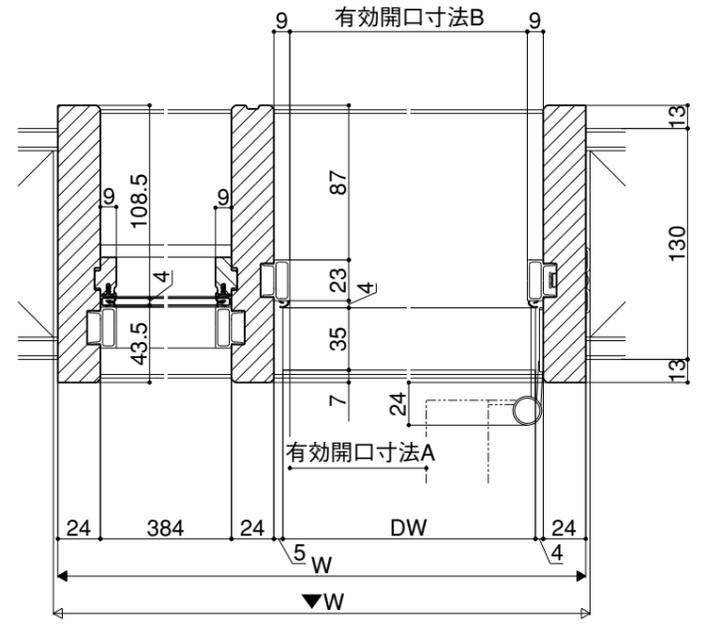
■納まり図

【親子ドア片袖枠ユニット】

■縦断面図



■横断面図



H呼称 (枠外寸法)	C寸法
H20 (2023)	1062
H23 (2306)	1345

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W12 (1192)	661	718